



営農NEWS



— 不安定な天候が続いています —

秋冬野菜（レタス、ハクサイなど）の育苗中における べと病など病害発生に注意してください

本年は、梅雨明け直後から猛暑が続いていましたが、8月後半からは降雨日や強風の日が続いており、今後もしばらくは「雨マーク」の日が多いと予想されています。8月後半から9月にかけては、レタスやハクサイなど秋冬野菜の育苗時期と重なりますが、降雨や強風の日が続いていますと、育苗場所がやや多湿の条件になりやすく、病害の発生しやすい環境条件となります。このため、育苗中の害虫被害の発生予防と共に、べと病など病害の発生にも十分注意が必要となります。（アブラナ科野菜類の育苗中における防除については「営農NEWS 第2385号（平成27年8月10日発行）」を参考にしてください）。育苗中は常に注意して観察し、病害虫の早期発見および早期防除に努めてください。

【育苗中における病害虫防除のポイント】

- 1 育苗場所は、出来るだけ清潔を保つように努め、ハウス内外の除草を常に徹底しておきましょう。
- 2 育苗ハウスの側窓や天窓など開口部には、防虫ネットを展張しておきましょう。
- 3 育苗中は適度なかん水に努め、過湿、過乾燥にならないようにします。また、生育に応じてポットやトレイのずらしを行い、通風、採光を良好に保って健苗な株を育てます。
- 4 育苗中は病害虫の発生を常に注意深く観察し、確認したときは早急に防除を行ってください。また、散布後には必ず防除効果を確認して、次の防除の参考にしてください。
- 5 育苗中に生育不良や病害虫の発生したものは、早期に育苗ハウスから持ち出してビニール袋内などで腐熟させるなど適切に処分し、決して本圃には持ち込まないようにしましょう。
- 6 育苗期間中は、必要のない植物等の持込を避けましょう。市販の観賞植物や鉢物などは、病害虫と一緒に持ち込む危険を潜めています。

表1 レタス、非結球レタスべと病の主な防除薬剤（平成27年8月26日現在）

薬剤名	希釈倍率	使用時期 / 使用回数
ランマンフロアブル	2,000倍	収穫3日前まで / 3回以内
レーバスフロアブル	2,000倍	収穫7日前まで / 3回以内
シグナムWDG	1,500~2,000倍	収穫14日前まで / 1回
Zボルドー ※	500倍	— / —

注) ※印の薬剤は、薬害防止のため炭酸カルシウム剤を加用してください。

表2 レタス、非結球レタス斑点細菌病の主な防除薬剤（平成27年8月26日現在）

薬剤名	希釈倍率	使用時期		使用回数
		レタス	非結球レタス	
カスミンボルドー	1,000倍	収穫7日前まで	収穫21日前まで	4回以内
キノンドーフロアブル	800~1,000倍	収穫21日前まで	収穫30日前まで	5回以内
Zボルドー ※	500倍	—	—	—

表3 ハクサイべと病の主な防除薬剤（平成27年8月26日現在）

薬剤名	希釈倍率	使用時期 / 使用回数
ストロビーフロアブル	3,000倍	収穫3日前まで / 3回以内
ランマンフロアブル	2,000倍	収穫3日前まで / 4回以内
ダコニール1000	1,000倍	収穫7日前まで / 2回以内
プロポーズ顆粒水和剤	1,000倍	収穫7日前まで / 2回以内
オーソサイド水和剤80	600倍	収穫7日前まで / 5回以内
シグナムWDG	1,500~2,000倍	収穫7日前まで / 3回以内
ホライズンドライフロアブル	2,500~5,000倍	収穫14日前まで / 3回以内

農薬使用の際は、必ずラベル及び登録変更に関するチラシ等の記載内容を確認し、飛散に注意して使用して下さい。



生産資材部 営農企画課

電話：029-291-1012 FAX：029-291-1040